



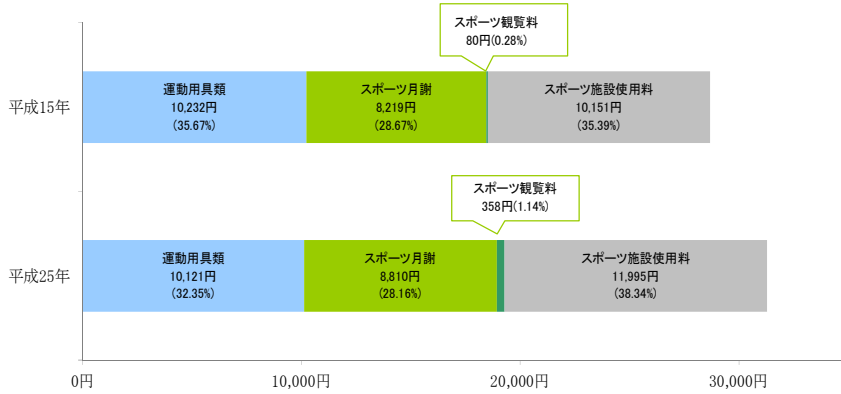
W杯 開催中！

～スポーツ関連支出について～



梅雨空のもと、あじさいが美しく生える季節になりました。さて、6月12日からブラジルではサッカーの世界カップが開催され、日本の一次リーグ突破なるかが気になるところです。今年は2月のソチオリンピックに始まり今回のワールドカップと4年に1度のビッグイベントが続き、県内では琉球キングスの3度目のリーグ優勝など、スポーツの話題が満載です。平成23年社会生活基本調査によると、沖縄県民のなかで1年間でスポーツをした人は75万人、行動者率は62.3%となっており、意外にも高い行動者率であることがわかります。では、スポーツ関連の支出はどうなっているのか、家計調査から沖縄の状況を調べてみました。

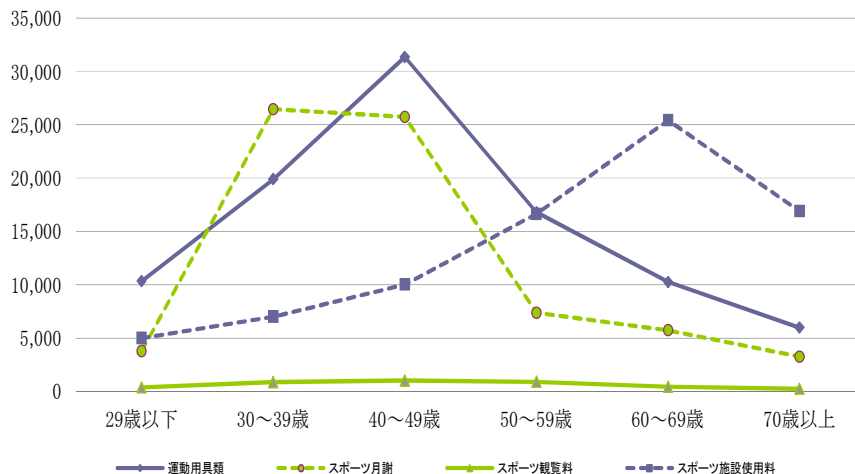
スポーツ関連の年間支出金額(那覇市)



はじめに、1世帯あたりのスポーツ関連の年間支出金額について、平成25年と平成15年で比較してみると、10年間で9.0%増加しています。内訳をみると、スポーツ月謝、スポーツ観覧料、スポーツ施設使用料は増加しています。特にスポーツ観覧料は4倍以上となっております。近年FC琉球や琉球キングスなど、地元のプロチームが活躍していることが要因でしょうか。

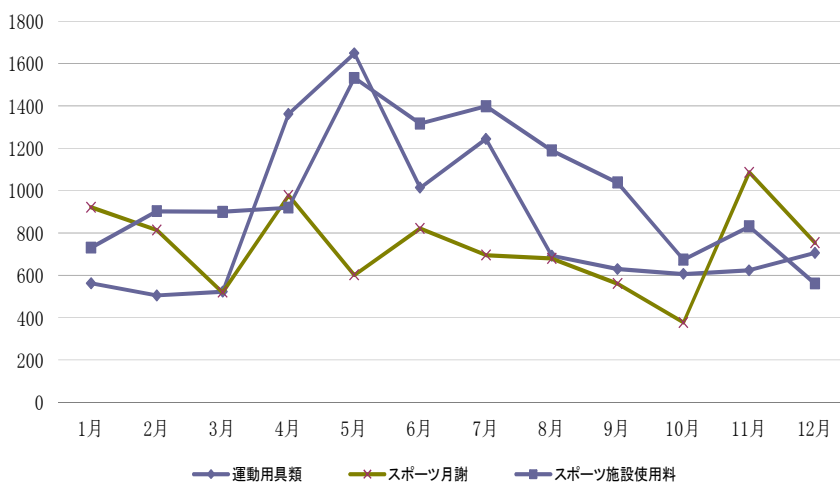


世帯主の年齢別スポーツ関連支出の年間支出金額



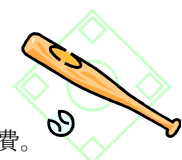
次に、1世帯あたりのスポーツ関連の年間支出金額を世帯主の年齢階級別にみても、スポーツ施設使用料への支出は世帯主の年齢が上がっていくにつれて増加し、60歳代の世帯で最も多くなっています。健康維持のためにスポーツ施設に通われているほか、ゴルフを楽しむ方が多いためと思われます。また、スポーツ月謝や運動用具類への支出は30～39歳代や40～49歳代で高くなっています。30・40代は子育て世代なので、こどもの習い事や部活動のためと考えられます。世代間での消費の違いがはっきりと現れており、興味深いところです。

支出月別のスポーツ関連の年間支出金額(那覇市)



最後に、月別のスポーツ関連支出金額の推移を見てみましょう。運動用具類、スポーツ施設使用料、スポーツ月謝ともに、4・5月に大きな山があります。春を迎えて何か新しいことを始める人が多いと思われます。春は始まりの季節といいますが、家計調査にもその傾向がしっかりと現れていますね。

梅雨が終わるともう夏本番です。夏バテに負けない体作りのために、スポーツを始めませんか？



※「スポーツ施設料」は、スポーツクラブ使用料、ゴルフプレー料金、他のスポーツ施設使用料を合わせた経費。